きょなん

町報　第433号
発行：鋸　南　町
編集：合併調整室
〒299-2192
千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458
☎0470-55-2111(代)
毎月１回
ホームページ：http://www.town.kyonan.chiba.jp/

8
2004



左から　指揮者・平井　進　1番員・石井　快典　2番員・井戸　俊明　3番員・今井　勝啓
4番員・舟竇　康弘　　予備員・加藤　博隆

「火点は前方の標的！」

第23回安房支部消防操法大会が6月19日、郡内各市町村の代表11チームが参加して、館山市・海上自衛隊館山航空基地で行われ、鋸南町からは第1分団が代表して出場しました。

第1分団要員は、3月中旬からこの日に備え、厳しい訓練を行いました。当日は緊張感が漂う中、指揮者の声が会場に響き渡り、要員も日頃の成果を出し切ろうとキビキビした動作で会場を沸かせました。演技終了後は、緊張が解け充実した面持ちで後続の演技を見守りました。

各チームとも集中力の高い演技が披露され、結果は鴨川市消防団が最優秀賞、第1分団は敢闘賞を受賞しました。

きょなんフォトニュース

善意の寄付

次の方から町へ善意のご寄付がありました。

菱川　明さん（中道台）　10万円　景観整備寄付金

陸上自衛隊第１空挺団第144・145期レンジャー学生一同　1万5千円　桜苗木代

第18回 きょなん町白キス沖釣り大会開催



町の観光振興とＰＲを目的とした、観光協会（高橋喜安会長）主催の第18回きょなん町白キス沖釣り大会が６月20日開催されました。当日は台風６号の影響により開催が危ぶまれましたが、県内外から腕自慢の太公望３１５名が参加して、22隻の釣舟は予定どおり午前７時に保田漁港を出港。一般の部、レディーの部、ジュニアの部の３部門に分かれて白キス５匹の総重量により腕前を競いました。各部門とも釣果は、魚体は大柄で昨年を上回る好成績でした。

各部門の成績は次のとおり（敬称略）

一般の部

優　勝　藤巻　博（東京都）

第２位　土田　博嗣（山武郡）

第３位　山内　廣文（千葉市）

レディーの部

優　勝　加藤　冷子（館山市）

第２位　寺尾　陽子（千葉市）

第３位　上岡　千恵（東京都）

ジュニアの部

優　勝　高田実千加（所沢市）

第２位　鈴木　雄作（松戸市）

第３位　上野　晃（四街道市）

海の安全を願って 海開き祈願



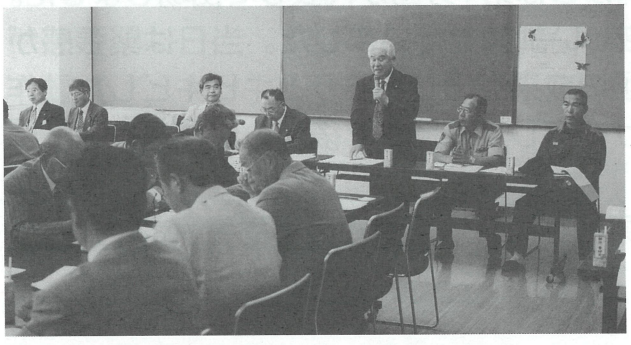
神主による祈禱（保田海水浴場）

7月2日に、夏期観光シーズンの幕開けを前に海の安全を祈願する「海開き祈願祭」が勝山・保田両海岸で実施されました。

町では、今年も7月23日から8月15日までの24日間、町内5海水浴場を開設し、海水浴客の受入れ体制に万全を期しています。それぞれの海水浴場にライフセーバーを配置し、監視体制を充実させて、安全で快適な海水浴場づくりに努めています。

また、今年から各海水浴場に設置していたゴミ箱を撤去し、海岸の環境美化を強化しております。ゴミは各自で持ち帰るようご協力願います。

夏期観光安全対策本部を設置



夏期期間の安全について語る高橋会長

平成16年7月2日、鋸南町立中央公民館において、夏期観光安全対策会議が開催され、夏期期間中、鋸南町に来遊する海水浴客等の安全と地域環境の保全を目的とした夏期観光安全対策本部が設置されました。

設置期間は7月2日から8月31日までの間で、役場・観光協会・学校・警察・消防・交通安全協会・食品衛生協会等と連携して巡回・指導・啓発を行い、夏期期間中の安全を図ります。

B&Gスポーツ大会
剣道の部初優勝

県内13の海洋センターの代表選手で行われる、平成16年度千葉県B&Gスポーツ大会が、7月4日（日）に睦沢町総合運動公園を会場に開催されました。

剣道・水泳・カヌーの3つの部に分かれ、日頃の練習成果を競い合いました。



準優勝した水泳部



大会初優勝を飾った剣道部

鋸南町のB&Gからは、水泳と剣道の部に17名が出場し、水泳の部では惜しくも準優勝でしたが、剣道の部では総当り形式で全勝し、見事優勝を勝ち取りました。

出場選手は次のとおり。

（敬称略）

剣道の部

大将	三瓶　繁義	（高2）
副将	平井　祐太	（中3）
中堅	八房　智範	（中2）
次鋒	平田南津子	（小6）
先鋒	小宅　綾希	（小6）
	金木　絢	（小6）
	金木　暁	（中2）

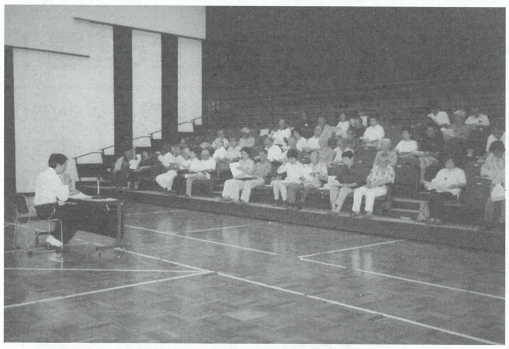
水泳の部

久野真由子		（中3）
平田　舞美		（小6）
川﨑　星良		（小6）
金木　もも		（小6）
久野　浩弥		（小6）
三瓶　良太		（小5）
鈴木　航海		（小5）
平田　里彩		（小5）
田村　宥貴		（小4）
三瓶　雄司		（小4）

ふるさと歴史講座開講

鋸南町の歴史をゆかりの人物からひもとく「ふるさと歴史講座」が始まりました。一〇〇名近い応募者があり、会場を中央公民館のホールに変更して、6月19日に第1回「菱川師宣と江戸吉原」が開講されました。

鋸南町出身や鋸南町を訪れた歴史上の意外な有名人の素顔や町とのかかわりを、笹生学芸員が解説します。12月まで全10回。今後は水戸黄門、小林一茶、夏目漱石などの講座もあります。飛び入り参加もできますので、興味のある方は、ぜひ聞きに来てください。日程、内容はお知らせ版に毎月掲載します。


ふるさと歴史講座の様子

企画展
「江戸の華 歌舞伎の世界」開催



菱川師宣記念館では、7月28日（水）から9月5日（日）まで、企画展「江戸の華　歌舞伎の世界」を開催します。江戸時代、庶民の娯楽として発展した歌舞伎は、浮世絵のかっこうの画題として多くの浮世絵に描かれ、役者絵というジャンルを確立しました。芝居自体も荒事、世話物、時代物などいろいろなストーリーが誕生し、多彩な役者たちが活躍して、庶民の人気をさらいました。

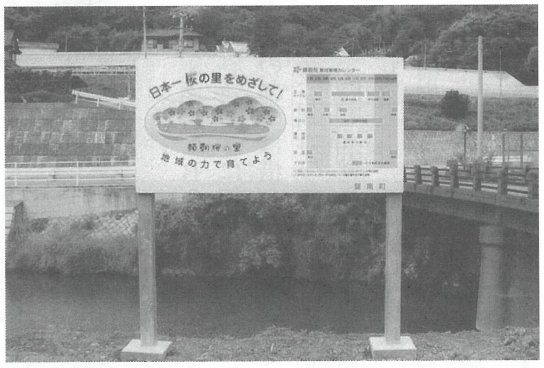
この展覧会は、浮世絵に描かれた人気歌舞伎役者や人気演目をはじめ、歌舞伎衣装、小鼓、笛、コンチキ、雨うちわなど舞台で使われた小道具をあわせて展示し、当時の庶民を熱狂させた歌舞伎の魅力を紹介します。助六、弁慶、切られ与三郎、四谷怪談に忠臣蔵などお馴染みのお話も浮世絵で展示されます。ぜひ、この機会に江戸っ子の心意気がしのばれる歌舞伎の世界を感じて下さい。



浮世絵の祖出生の地
菱川師宣記念館

さくら植栽啓発看板を設置

花いっぱい事業を展開中の町では、地域のみなさんの手で頼朝桜を守り育てるための看板を設置しました。設置されたのは、保田川の権現橋と中橋、佐久間川の和見橋のたもとの3箇所で、桜の生育・肥料・草刈・害虫防除・剪定に関しての年間の桜管理スケジュールが掲載されています。また、桜の里イメージ図と「日本一桜の里をめざして」と表示されています。育成管理に御協力をお願いします。



佐久間川・和見橋に設置された看板

第2回・さくら守養成講座を開催

5月から開催されている「さくら守養成講座」。この第2回講座が6月19日に開催されました。今回の講座では、「施肥管理・雑草対策・健康診断の方法」の現地実習と講義が行われ、実習場所の佐久間ダムでは、実際の桜の枝・葉を手に取り質問する受講者の熱心な姿が見られました。講座は今後も行われ、全5回が予定されています。



陸上自衛隊学生隊レンジャー訓練終了
帰還報告式を開催

6月11日から7月8日までの約1ヶ月間、陸上自衛隊の学生隊の第144・145期の学生30名が鋸南一中跡地を前線基地にして空挺レンジャー訓練に挑みました。今回の訓練は、例年になく雨の少なかったこの時季に野山や沢に分け入る過酷なものでしたが、全員が無事帰還することができました。

報告式では、三島学生隊長、平田教育隊長から訓練の無事終了の祝辞があり、白石町長からは「この訓練を糧に、今後の任務に励み立派な隊員になっていただきたい」と言葉がかけられました。

片山学生長は答辞で、「厳しい訓練だったが、皆様の暖かい支援で頑張ることができました」と感慨深げに感想を述べ、当町の観光発展にと桜の苗木の目録が町長に手渡されました。



保田小学校 ドッジボール安房大会5連覇！

6月19日（土）に県立館山運動公園を会場に「少年の日・地域のつどい安房大会」が開催されました。鋸南町からは、町内予選を勝ち抜いた保田小学校が代表で参加をし、見事優勝に輝きました。保田小学校は、種目がドッジボールになってから、5回連続で町を代表して出場、昨年度の同率1位を含めて、見事5連覇を達成いたしました。保田小チームを率いた鋸南町青少年相談員（会長鈴木　悟）は、「とにかく、子どもたちのチームワークが良かった。優勝できて、子どもたちに自信と素敵な思い出ができた。」と、子どもたちと一緒になり喜んでいました。



今月のお風呂大好き



後藤　藤助さん・トモ子さん夫婦
「ここにくるのが毎日の日課です」

見返り美人の里 笑楽の湯

毎月26日はお風呂の日。今月のお風呂は「ミント風呂」です。ミント風呂の特徴は、血行促進・保温効果はあるのに、入浴後の発汗が少ない、つまり「温まるのに汗ひきがよい」ことです。またミントに含まれるメンソールの香りが清涼感を与えてくれます。

お風呂の効能としては、鎮静効果、殺菌効果、疲労回復があります。

8月の終わりになると、そろそろ夏の疲れが出てくるころです。夏バテによる疲労回復、冷房による冷え症に最適なミント風呂に入りにきませんか。

〔老人福祉センター〕

つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（29）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。

お尋ねする内容は、①仕事や趣味　②最近心に感じた事やうれしかったこと　③町政に望むこと　などです。次はあなたもネットワークの一員です。

①東京より鋸南町に戻り６年が経ちました。現在は、母と一緒に美容室をやっています。子育てとの両立の為、皆さんに協力して頂き、完全予約にて仕事をしています。最近は子どもを通じての友人も増え、目まぐるしくも楽しい日々を過ごしています。

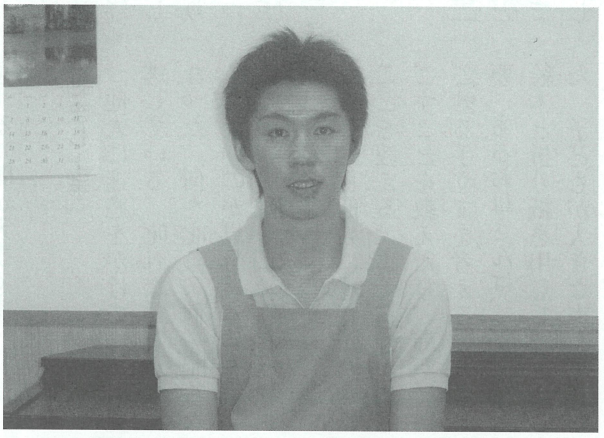
②先日、娘との散歩の途中に中学生が「こんにちは」と声をかけてくれました。とても気持ちが良かったです。きっとこの様なことが町の中を明るくしていると実感しました。娘もこのように育ってくれたら嬉しいです。

③子どもたちがこれから過ごす環境の事が気になります。これからこの町を支えてくれる子どもたちはきっと見るもの・触るもので感性が磨かれると思います。幼稚園、小学校の老朽化や小さい子どもが安全に遊べるスペースなど、のびのびと育ってくれる環境が充実してくれたらいいなと思います。自分が育った町で子どもを育てられるのは幸せだなと感じています。



栗原　直子さん（本郷区・美容師）

次回は小原　佐知子さん（竜島区）へバトンタッチされます。



福原　　忠さん（小保田区・介護士）

①介護の仕事について３年が経ち、今年「介護福祉士」の国家試験に合格しました。３年間の経験と勉強を通して感じることは、利用者が介護する側に対して望むことや日々変わっていく高齢者の体調や精神面などへの対応の難しさです。これからも経験を積み重ね、どんな状況にも対応できる介護士になりたいと思っています。

②今年の３月に長女が誕生しました。まだ4ヶ月ですが表情も豊かになり、発声も多くするようになりました。少しずつですが寝返りも出来るようになり、日々の成長がますます楽しみになってきました。共働きの為、仕事の時は保育所へ預けています。「たくさん友達をつくって明るく優しい子になってくれたらな…。」と思います。

③今後の市町村合併や進んでいく少子高齢化に不安を感じますが、子供から高齢者まで住み易い町づくりを望みます。

次回は山野井　健二さん（元名区）へバトンタッチされます。

ボランティア日記

鋸南町老人クラブ連合会

代表　松川　省吾

私達、鋸南町老人クラブ連合会では、健康・友愛・奉仕の３つを柱とした、様々な活動を精力的に展開しています。その中で、女性会員が中心となって推進しているのが、ボランティア活動です。

今年も、『鋸南苑』などの施設を訪問して鋸南町から入所している方との交流を図りました。訪問に際しては、不要となったタオルを利用して作った犬のぬいぐるみを持参し、一人ひとりに手渡しました。中には涙を流しながら喜んでくれた方もおり、訪問した私達も感無量でした。ボランティア活動を実践してみて、誰かのために何かをすることで、自分自身の生きがいをも見つけられるということに気付かされました。これからも元気が続く限り、仲間とともに楽しく活動していきたいと思います。



施設訪問の様子

家庭教育通信 すくすく NO.37

「ほめ上手・聞き上手・励まし上手の親（後編）」

○はじめに

前回に引き続き、鋸南町家庭教育学級の生みの親でもあります安藤恵美子先生を講師にお迎えし、「ほめ上手・聞き上手・励まし上手の親」と題してお話を伺いました。

○前回までのお話

『ほめ上手』

「ほめる子育てが良い」と言われています。しかし、子どもたちが何をほめられたのか、わからない。子どもの心にひびかないほめ方では、子どもを認めてほめたことにはなりません。子どもをよく見て、勉強の良し悪しにこだわりすぎず、草取りやお手伝いなどの日常生活についても、その事実をほめてあげることが大切です。

○先生のお話

『聞き上手』

「聞いてあげる余裕が大事」

子どもが聞いてもらいたいとき、ちょっと手を休めて聞いてあげていますか？悪いことをしたときや困ったことが起きたとき、頭からどなっていませんか。子どもと目を合わせ、「どうだったの？」と聞いてあげ、受け入れてあげる。子どもの言うことをよく聞いてあげることは、小学生でも中学生でも思春期になっても大事なことです。子どもは、大人にはない発想をします。子どもの発想を大事にしながら、わかるように教えていくことも大切です。親は忙しいと思いますが、子どもと対面し話をする時間が大事です。

『励まし上手』

他人に迷惑をかけていても見逃している、叱れない親が多くなった。何を叱り、何を叱らなくてよいのか見分ける目をもってほしい。例えば、電車の中や公共の場で駆け回ったり、騒いだりしたら他人に迷惑がかかることを教える。また、静かに過ごすことを教えたり、静かに過ごせる手立てを考えることも必要。あるお母さんは、電車の中、絵本と折り紙を用意してきました。子どもが大きな声を出した時には、指で静かに合図を送っただけです。その結果、このお母さんは叱ることはなかったそうです。このように、親は叱ることだけではなくて、子どもの行動や考えを予測して手立てを考えることも大切です。

親は、子どもが目標をもって生活できるように、また、目標が達成できるようにほめて励まします。苦手なことも達成できるよう励まし、頑張っていること、できたことに対しほめ励ましてあげましょう。子どもの性格的なものを責めたり、親の感情で怒ったりしないことが大事です。

○おわりに

上手な叱り方は、「叱られる側」の子どもの立場になって考えること。「そう言われたら子どもはどう感じるだろうか」「子どもはどう受けとめるだろうか」まず、ここから考えてみましょう。子どもの心や身体を傷つけるような叱り方は、教育的な効果がないばかりでなく、児童虐待につながる可能性もあります。

子どもを「褒める」「励ます」為には、子どもの話を「聞く」ことが大事です。その為にも「聞き上手」な親を目指してみませんか。

教育委員会　生涯学習係

（☎五五―二一二〇）

健康通信

「汗疹（あせも）」

あせもは専門的に「汗疹（かんしん）」と呼ばれ、汗をたくさんかいたのに蒸発や流失しにくい場合に、汗腺が詰まり、汗が皮膚の中に溜まることで起こります。そして汗腺の周囲に炎症が発生し痒みを伴う赤いブツブツができるようになります。汗が皮膚の中に溜まる深さによってあせもは二つのタイプにわけられます。

水様性汗疹（すいようせいかんしん）（白いあせも）

最も浅い汗疹。表皮の角質層内か角質層直下に汗が溜まり小さい透明の玉のような水疱になる。日焼けでよく起こる。ひどいときは広い範囲にびっしり見られる。発赤・痒み・痛みの症状はなく2～3日で自然に治る。

紅色汗疹（こうしょくかんしん）（赤いあせも）

白いあせもよりも深い、表皮内に汗が溜まり皮膚に赤い盛り上がりができる。暑さの厳しい時長時間汗をかくとできる。最も多く見られるタイプでチクチクと痛痒い。汗で蒸れた角質内で、細菌が増殖し炎症反応がおきるために出るあせも。回復には数週間かかる。

深在性汗疹（しんざいせいかんしん）

赤い汗疹よりもさらに深く、表皮の下に汗が溜まると、表皮面になだらかな盛り上がりができる。これが最も深いタイプのあせも。炎症反応を起こしているが赤い汗疹のような痒みはない。また初めは赤いあせもだったものが、多量の汗を繰り返しかいていることで炎症が深く広がっていく事もある。広範囲にこのあせもができると、汗をかいて体温調節する機能がストップするので、体に熱がこもり、熱中症に陥ることがある。あせもといえども命にかかわるということ。

あせもの予防は、汗をかいたままにしないことです。高温多湿の環境、通気の悪い衣類には注意しましょう。汗をかいたら、シャワーを浴びたり、濡れタオルで汗を拭き取ったりしましょう。またクーラーや除湿機を有効に使って湿度と温度を調節しましょう。あせもは子どもだけの病気ではありませんからおとなも気をつけましょう。

（保健福祉課　保健係）

歴史資料館

●連載145

勝山藩の戊辰戦争（6）

箱館で戦った勝山藩士

さて、戊辰戦争は、その後東北、箱館へと舞台を移し、明治二年（一八六九）五月十八日、箱館五稜郭の開城をもって終結しました。

この箱館戦争に参加し、戦死した一人の勝山藩士がいます。彼の名は三宅熊五郎。林軍に身を投じた藩士たちの中には見えない名です。彼がなぜ、どのような経緯で箱館に渡ったのか、今となっては知るよしもありません。ただ箱館の実行寺（函館市船見町）にある箱館戦争犠牲者の墓の中に、明治元年十二月十七日に戦死した彼の墓があります。



三宅熊五郎の墓（実行寺）

三人三様の人生

さて、内房諸藩を巻き込んだ義軍の中心人物、林忠崇、伊庭八郎、人見勝太郎の三人は、その後どうなったのでしょうか。

伊庭八郎は、左腕治療のため、奥州へ向かう林、人見に遅れて、奥州行きの榎本艦隊の美加保丸に乗船しましたが不幸にも暴風雨で美加保だけが銚子沖で沈没。かろうじて脱出した彼は、江戸、横浜と潜伏した後、箱館に渡りました。箱館政府のもと、歩兵頭並に任命された八郎は、片腕ながら、松前で遊撃隊を率いて奮戦しましたが、四月二十日、木口内で胸に銃弾を受け箱館病院に収容されました。

そして官軍の五稜郭攻撃が始まる中、五月十二日、病床でモルヒネを飲んで自殺しました。彼は最後まで幕臣としての意地と誇りを見せて逝きました。

人見勝太郎は、奥州から箱館へと転戦し、箱館政府では松前奉行を任命され、遅れてきた伊庭八郎とともに松前、江差を守備しましたが、戦線で負傷し、箱館病院に収容中、五稜郭開城とともに降伏しました。その後は明治政府に仕え、茨城県令を勤めたり、利根運河会社を設立し実業家としても成功しています。

また彼は箱根早雲寺の遊撃隊士の墓碑を建立したり、勝山藩の義士の碑の篆額を請け負ったりもしています。

林忠崇は、東北諸藩とともに奥州各地を転戦しましたが盟主仙台藩が降伏すると、仙台藩の勧めで九月二十日に降伏しました。徹底抗戦を主張する人見ら遊撃隊と別れて、忠崇主従十九名は、東京に護送されました。戊辰戦争を通じて唯一廃藩となったのは請西藩だけです。

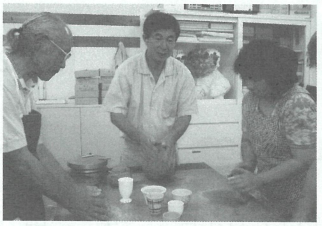
明治五年に禁を解かれた忠崇は、その後は赤貧ながら一夢と号し和歌を愛する風流な人生を過ごしました。明治三十年には、鹿野山に義軍の招魂碑を建立しています。

昭和十六年（一九四一）一月二十二日、忠崇は九十四才という天寿をまっとうしました。徳川のためにただ一人、藩主の座を投げうって立った彼は、皮肉にも、三百諸侯の中で、誰よりも長生きし、文字通り最後の殿様となったのです。

［歴史民俗資料館・笹生浩樹］

生涯学習 みんなで学ぼう

「陶芸教室」



恩田先生から菊ねりの指導

公民館では６月２４日から毎週木曜日の夜、鴨川陶芸館の恩田眞人先生を講師に迎え、「陶芸教室」を開催しています。

経験のある方、始めての方１０名が参加しています。土をこねる基本から始め、１作品目は湯飲み、現在は２作品目のコーヒーカップを制作中です。土をこねるのは以外と力のいる仕事で、土の中の空気を除くための菊ねりという方法は、手のひらの使い方が難しく中々“菊”の形になってくれません。“不器用でも大丈夫”との先生からの言葉を励みに、自分だけの器ができあがることにワクワクしながら参加者達は額に汗して取り組んでいます。　切り糸や弓、手ろくろなどの七つ道具も大分上手に使えるようになってきて、大作に挑戦できる日もそう遠くはないようです。



まずは土の感触に慣れることから

問い合わせ先　中央公民館☎５５－４１５１

わんぱく登場



美空ちゃん（1歳1か月）
〔佐々木洋之さん　第2子　竜島〕

私動くの大好き。得意のハイハイは競争させたら負けないよ。

もうすぐ立って歩いて走っちゃうからよろしくね。私の「いいお顔」はみんなに幸せをもたらすって噂。リクエストに答えるのが大変なの。こんな私をちょっとでも無視したら大声で鋸南町の中心で叫んじゃうから。

桜だより

～桜の管理～

◇水かけ及び生育状況確認◇

現在植栽されている苗木は成木に比べて、生育が旺盛ですが根は充分張っていないのが特長です。乾燥に弱く、乾燥すれば生育が阻害されます。

梅雨明けから、10日以上乾燥が続くと苗木の新芽がぐったりし、葉が黄色くなりつやがなくなる事があります。そのため水かけが必要となります。出来れば、夕方にたっぷりと根まで水が浸透するように水を与えるのがよいでしょう。

桜は、6～7月頃に上方に伸び、9～10月頃に急に幹が太ります。そのため幹を支柱に固定している縄に余裕がないと幹を絞めつけた状態になりその部分だけがくびれてしまい、幹が折れやすく、成長の妨げの原因となります。特に3年生から4年生の桜は、成長が早いので注意が必要です。

これらの状態の桜を見つけたら、すぐ縛り直しをお願いします。

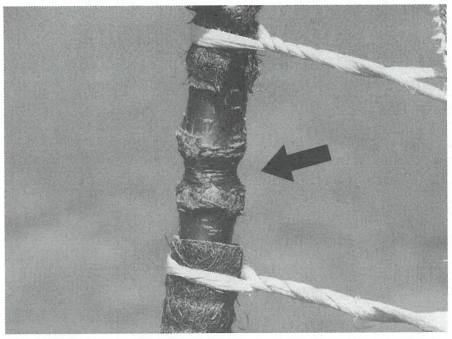
『縄の処理方法』

桜も、しっかり固定した状態でいるより、ある程度ゆられる位の方が、幹にも負担がかからず根を痛めることもなく成長しやすいようです。

通常の管理をしながら、生育状況や、危険度などを定期的に巡回し確認することが大切です。

植栽後3年間の維持管理が、桜の将来にわたる、生育の良し悪しを左右すると言われます。

この間は、出来るだけ維持管理をお願いします。



幹が締めつけられへこんだ状態

B&G NEWS

◇温水プール開館時間　10時～21時
12時～13時及び17時～18時は休憩

◇休館日　月曜日

◇プール使用料金
（町民）　小中学生 150円・一般 300円
※幼児は無料



平成16年度　2期水泳教室生徒募集

9月から第2期水泳教室を開催します。

◎幼稚園
★チャイルド
★幼児コース

◎小学生
★初級中級コース

◎小学生～中学生
★選手育成コース

◎高校生以上
★ポンポコ歩行
★生き生き貯筋
★水中歩行
★腰痛改善
★レディース

※新規参加者・初心者大歓迎です。

受付開始　平成16年8月24日（火）午前9:00

◇申込み問い合わせ　鋸南町B＆G海洋センター　☎55－4411

あの子もこの子もきょなんの子　おめでとう

（6月26日から7月25日迄の届け分）



赤ちゃん	生まれた日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆池田　俊樹（としき）くん	平成16年6月26日	栄・由美（第2子）	田町	やさしく元気に

※掲載を希望しない場合は、出生届提出時に申し出てください。

写真さしあげます

広報に掲載した写真さしあげます
一部希望に添えない場合もあります

◇合併調整室広報係
☎55－4803

人の動き

世帯数	3,754世帯	（＋ 3）
人口	10,321人	（－14）
うち男	4,960人	（－ 8）
女	5,361人	（－ 6）

7月1日現在　（前月比）

編集後記

安房支部消防操法大会を取材に行きました。鋸南町からは第1分団が代表して出場。指揮者から4番員まで役場の職員と異例のメンバーでしたが、きびきびとした動きで会場を沸かせました。出場者の皆さんお疲れさまでした。

話はかわって、7月11日に行われた和田町の住民投票の結果、合併に向けて動きがありそうです。9月号では、鋸南町の住民説明会の内容等を掲載できればと考えています。（K）